



号外

昭和34年4月1日  
第3種郵便物認可

定価1部2円  
発行所  
盛岡市内丸10番1号  
岩手県庁内  
岩手県職員労働組合

No.2440  
2017年  
11月14日

現業評議会の独自交渉実施！職場実態や技術の伝承の観点からの人員確保に向け職場からの闘争強化を！

2017現業統一闘争 11.13現業評議会人事課長・主管室課長交渉

# 現業職員の完全補充を！

人員補充 技術・経験は必要と認識/各部局の意見を踏まえ検討  
賃金改善 評価導入は拒否/勤務意欲維持のため改善求める



人事課長の姿勢を質す現業評交交渉団

11月13日、県職労現業評議会（議長：山口耕司・県庁管財課（車庫）分会）は、人員補充、現業職場の直営堅持、賃金改善などを柱とした知事あて要求書の回答を求めるべく、佐藤人事課長と交渉を行った。交渉には、守衛、技能員、振興局土木部の運転技士が職

場実態を訴え、職場の直営堅持と人員補充を強く訴えた。主な交渉結果は次のとおり。

## 1 現業職員の補充・人員配置

(現業評) 再任用希望者の任用確保を。再任用を希望しない場合の新採用補充を。

(人事課長) 再任用の希望は最大限配慮。再任用を希望しない場合の対応は、来年度の組織・人員体制の検討を進める中で、主管部から話を聞いて検討を重ねる。

(現業評) 現業職員は、これまでの採用抑制の結果、高齢化。業務の継続性、技術伝承の観点から、計画的な人員補充を。今年定年退職者がある畜産研究所でも新規採用が不可欠。検討を。

(人事課長) 現業職員の新規採用は、各主管部から話を聞いて対応。技能員は2017年度に1人、2016年度に中途採用を含め3人採用。結果として20代、30代の若い職員を採用することができた。

(現業評) 試験研究機関の技能員職場では日々雇用職員など臨時職員の配置でようやく業務が対応している状況。日々雇用職員も募集しても低賃金のため、確保が困難。正規職員の配置を前提すべきであるほか、臨時職員の処遇改善も必要だが、見解は。

(人事課長) 人員確保は各主管部から話を聞いて適切に対応。臨時職員の賃金日額は、地域における労務需給の状況により容易に得難い職種のもの等は、人事課に合議のうえ、賃金日額を一定程度割増することができる。各部局と連携し、人材確保に努める。

(現業評) 業務実態に見合う配置を要請する。臨時職員の賃金改善がなければ人は集まらず、待ったなしの課題。具体的改善を求める。



回答する佐藤人事課長



実態を訴える小笠原守衛

## 2 現業職場の直営堅持

(現業評) 管財課との交渉では守衛は完全民間委託、管財課運転技士も新規補充しない方針であった。守衛は要人警護があり、運転技士も運転業務の要請に応えきれず需要が多い。直営堅持を。

(人事課長) 守衛業務の在り方は、管財課で守衛業務に支障が生じないことを前提に検討。運転技士は、知事・副知事への対応や沿岸への運転業務も多く、重要な業務であることは認識。今後の対応は管財課と相談しながら検討。

(現業評) 守衛業務はこれまで3人体制だが、今年度から2人体制。委託業者への指導が行き届かず今年度は不適正事案が増加。来年度1人体制では厳しい。現場実態を踏まえ、体制確保を強く要請する。

## 3 現業職員の賃金改善

(現業評) 今年度の現業職員の給与改定は、高齢層職員の処遇改善は喫緊の課題。5級の号給増設など、勤務意欲が維持できる給与上の配慮を。

(人事課長) 給与改定に必要な規則改正は12月中に行う。5級増設に関しては、一般職は給与制度の総合的見直し時に40歳後半・50歳前半の分布を踏まえ、昇給の確保のため行ったが、現業職は同じ年齢層の在籍者数が少ないこともあり、国・他県の動向を踏まえ、増設を見送った。勤勉手当上の配慮は、人事評価制度の範囲内で行うものであり、一般職と同様の対応が必要な場合は、現在の運用を見直しし、一般職員と同様の人事評価制度を導入することが必要。

(現業評) 人事評価制度の導入は現業になじまないため受け入れられない。もっとも、賃金改善がなければ勤務意欲が確保できない。給与面の改善について、継続課題として検討していただきたい。

(人事課長) 各々の課題が明らかとなったが、今後、時間をかけて様々な角度で検討を重ねていきたい。

最後に佐藤人事課長から「技術や経験に裏打ちされた仕事であることは実感。各部局にも今日の意見を伝え、今後の在り方をしっかり検討する」との回答を引き出した。

### ◎農林水産企画室・小島管理課長交渉

(現業評) 今年度退職予定者の対応及び各試験研究機関の技能員の配置の考えは。

(農林水) 技能員の定数はギリギリであり確保したい。再任用希望はもとより、新規採用を含め要望する考え。今年度退職補充できなかつた農大の運転技士は、来年度は技能員として人事課に要望中。

(現業評) 定数維持はもとより、現場実態を踏まえた人員配置・新採用の計画的配置を要請する。

### ◎県土整備企画室・高橋管理課長交渉

(現業評) 欠員解消策は、各土木部での1人職場解消に向けた基本的考え方は。

(県土整備) 正規職員の補充は正直厳しい面もあるが、土木部の運転技士の業務に支障が生じないように要請を踏まえ、どういう対応ができるか、人事課に実状や課題は伝える。

(現業評) 欠員解消は速やかに検討いただきたい。沿岸部の1人職場の課題も喫緊の課題であり、現場の声を丁寧に確認して、人員補充をお願いしたい。

### ◎管財課・猪久保総括課長交渉

(現業評) 守衛の直営堅持を。運転技士の補充に関し、現行水準の維持を強く求める。

(管財課) 再任用は尊重する。今後の運転技士の体制は業務状況を見ながら検討していく。守衛は完全民間委託の方針である。様々課題はあるのは承知しているが、他県では過半数が民間委託をしており、その動向を踏まえ委託での方向。諸課題への対応は委託先の指導を強化する。

(現業評) 守衛は正規2人体制でも業務に支障。今年もトラブルが多発しており、完全民間委託ではなく、正規職員の維持が不可欠。再考を強く求める。正規守衛の意見も十分聞いて判断を。

(管財課) 完全民間委託時に課題があるのは承知。どのような形がよいか検討させていただきたい。